



Developing for Adobe® Reader®

Adobe® Acrobat® SDK

バージョン 8.0

© 2006 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Adobe® Acrobat® SDK 8.0 Developing for Adobe Reader (Microsoft® Windows® / Macintosh® / Linux® / UNIX® 版)

Edition 1.0、2006年9月

本マニュアルがエンドユーザ使用許諾契約を含むソフトウェアと共に提供される場合、本マニュアルおよびその中に記載されているソフトウェアは、エンドユーザ使用許諾契約にもとづいて提供されるものであり、当該エンドユーザ使用許諾契約の契約条件に従ってのみ使用または複製することが可能となるものです。当該エンドユーザ使用許諾契約により許可されている場合を除き、本マニュアルのいかなる部分といえども、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の書面による事前の許可なしに、電子的、機械的、録音、その他いかなる形式・手段であれ、複製、検索システムへの保存、または伝送を行うことはできません。本マニュアルの内容は、エンドユーザ使用許諾契約を含むソフトウェアと共に提供されていない場合であっても、著作権法により保護されていることに留意ください。

本マニュアルに記載される内容は、あくまでも参照用としてのみ使用されること、また、なんら予告なしに変更されることを条件として、提供されるものであり、従って、当該情報が、アドビ システムズ社による確約として解釈されることはありません。アドビ システムズ社は、本マニュアルにおけるいかなる誤りまたは不正確な記述に対しても、いかなる義務や責任を負うものではありません。

新しいアートワークを創作するためにテンプレートとして取り込もうとする既存のアートワークまたは画像は、著作権法により保護されている可能性のあるものであることをご留意ください。保護されているアートワークまたは画像を新しいアートワークに許可なく取り込んだ場合、著作権者の権利を侵害することがあります。従って、著作権者から必要なすべての許可を必ず取得してください。

例として使用されている会社名および会社ロゴは、実在の会社・組織を示すものではありません。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Reader、LiveCycle、Photoshop、PostScript、Illustrator および After Effects は、アドビ システムズ社の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

AIX は、米国およびその他の国における International Business Machines Corporation の商標です。

Apple および Mac OS は、米国およびその他の国で登録された Apple Computer, Inc. の商標です。

HP-UX は、Hewlett-Packard Company の登録商標です。

Intel は、米国およびその他の国における Intel Corporation の登録商標です。

JavaScript および Solaris は、米国およびその他の国における Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の登録商標です。

Microsoft および Windows は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

Red Hat は、米国およびその他の国における Red Hat の商標または登録商標です。

SPARC のすべての商標は、SPARC International, Inc. の商標または登録商標であり、ライセンスに従って使用されています。SPARC の商標が使用されている製品は、Sun Microsystems, Inc. によって開発されたアーキテクチャに基づいています。

UNIX は、米国およびその他の国における The Open Group の登録商標です。

その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

Adobe Systems Incorporated, 345 Park Avenue, San Jose, California 95110, USA.

Notice to U.S. Government End Users. The Software and Documentation are "Commercial Items," as that term is defined at 48 C.F.R. § 2.101, consisting of "Commercial Computer Software" and "Commercial Computer Software Documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. § 12.212 or 48 C.F.R. § 227.7202, as applicable. Consistent with 48 C.F.R. § 12.212 or 48 C.F.R. § 227.7202-1 through 227.7202-4, as applicable, the Commercial Computer Software and Commercial Computer Software Documentation are being licensed to U.S. Government end users (a) only as Commercial Items and (b) with only those rights as are granted to all other end users pursuant to the terms and conditions herein. Unpublished-rights reserved under the copyright laws of the United States. Adobe Systems Incorporated, 345 Park Avenue, San Jose, CA 95110-2704, USA. For U.S. Government End Users, Adobe agrees to comply with all applicable equal opportunity laws including, if appropriate, the provisions of Executive Order 11246, as amended, Section 402 of the Vietnam Era Veterans Readjustment Assistance Act of 1974 (38 USC 4212), and Section 503 of the Rehabilitation Act of 1973, as amended, and the regulations at 41 CFR Parts 60-1 through 60-60, 60-250, and 60-741. The affirmative action clause and regulations contained in the preceding sentence shall be incorporated by reference.

目次

はじめに	4
このマニュアルの内容	4
対象読者	4
関連ドキュメント	4
1 概要	6
サポートされているプラットフォーム	6
Windows	6
Macintosh	6
Linux	7
Solaris	7
AIX	8
HP-UX	8
Acrobat SDK で利用できるテクノロジー	8
JavaScript	9
アプリケーション間通信	9
プラグイン	9
2 JavaScript の API	10
オブジェクト、プロパティ、メソッド	10
3 アプリケーション間通信	25
OLE オートメーション	25
DDE メッセージ	27
Apple イベント	27
4 プラグイン	28
Adobe Reader で使用できる API	29
索引	30

はじめに

Adobe® Reader® は、PDF 文書を表示、閲覧、印刷するために使用する、Adobe Acrobat® 製品ファミリーのアプリケーションです。Acrobat 製品ファミリーについて詳しくは、http://www.adobe.com/go/acrobat_developer を参照してください。

このマニュアルの内容

このマニュアルでは、Adobe Acrobat ソフトウェア開発キット (SDK) を使用して Adobe Reader 向けの開発を行う方法について説明します。SDK を使用して実現できることや SDK で利用可能なテクノロジーについて概説します。このマニュアルは、Adobe Reader の拡張やカスタマイズを行いたい開発者が最初に読むマニュアルとして適しています。このマニュアルを読めば、Adobe Reader での開発作業と Acrobat での開発作業の相違点を理解することができます。

Adobe Acrobat SDK を使用して Adobe Reader の拡張やカスタマイズを行う方法としては、JavaScript™ コードを作成する方法、アプリケーション間通信を実装する方法、プラグインを作成する方法の 3 つがあります。このマニュアルでは、JavaScript の API、アプリケーション間通信の API、プラグインの API のそれぞれについて、関係する部分を取り上げて説明します。また、それらの API とその目的について説明するとともに、サポートされている各プラットフォームで行えることについて説明します。

対象読者

このマニュアルは、Adobe Reader 向けの開発を初めて行う開発者と、Acrobat SDK を使用した経験のある開発者の両方を対象にしています。

Acrobat SDK のテクノロジーに関する情報や、Acrobat SDK を使用して Acrobat や Adobe Reader を拡張する様々な方法については、『Overview』を参照してください。

関連ドキュメント

Acrobat SDK の詳細や関連資料については、次のマニュアルやサンプルを参照してください。

知りたい情報	参照するマニュアル
Acrobat SDK のすべてのマニュアルについて説明したロードマップ	『Acrobat SDK Documentation Roadmap』
Acrobat SDK でサポートされている様々なプラットフォームでの既知の問題点や実装の詳細	『Readme』
Acrobat 8.0 SDK でよくある質問への回答	『Developer FAQ』
このリリースの SDK の新機能	『What's New』

知りたい情報	参照するマニュアル
Acrobat SDK の機能や使用方法の概要	『Overview』
Acrobat SDK で Adobe Reader 向けの開発を行う方法	『Developing for Adobe Reader』
Acrobat SDK に付属するサンプルの説明と実装の詳細	『Guide to SDK Samples』
Acrobat SDK に付属する SnippetRunner ツールとプラグインスニペットの概要	『Snippet Runner Cookbook』
Apple イベント、AppleScript、DDE、OLE を使用して Acrobat や Adobe Reader を制御したり PDF 文書をレンダリングしたりする外部アプリケーションの開発方法	『Developing Applications using Interapplication Communication』
Acrobat や Adobe Reader を制御したり PDF 文書をレンダリングしたりするために使用する Apple イベント、AppleScript、DDE、OLE API の詳細	『Interapplication Communication API Reference』
JavaScript を使用して Acrobat や Adobe Reader に機能を追加する方法の概要	『Developing Acrobat Applications using JavaScript』
Acrobat や Reader に機能を追加するために使用する JavaScript API の詳細	『JavaScript for Acrobat API Reference』
PDF ファイル形式の詳細	『PDF Reference』
Acrobat、Adobe Reader のプラグインや、PDF Library の機能を呼び出すアプリケーションを開発する方法	『Developing Plug-ins and Applications』
Acrobat プラグインや PDF Library アプリケーションを開発するための API の詳細	『Acrobat and PDF Library API Reference』
PostScript 言語の構文とセマンティクス、および Adobe イメージングモデルの説明	『PostScript Language Reference, third edition』

1

概要

この章では、Acrobat SDK による開発がサポートされているプラットフォームと、Acrobat SDK で利用できるテクノロジーについて説明します。

サポートされているプラットフォーム

この節では、サポートされている各プラットフォームでアプリケーション間通信の API、Acrobat コア API、拡張 API を使用するための要件を説明します。Adobe Reader 向けの開発が行えるプラットフォームとしては、現在次のものがサポートされています。

- Windows®
- Macintosh
- Linux®
- Solaris®
- AIX®
- HP-UX

以降の各節で、各プラットフォームの詳細について説明します。

Windows

バージョン

- Microsoft Windows 2000 (Service Pack 2)
- Microsoft Windows XP Professional または Home Edition

開発環境

- Microsoft Visual Studio .NET 2003
- Microsoft Visual Studio 2005

注意：Windows 環境について詳しくは、『Overview』および『Developing Plug-ins and Applications』を参照してください。

Macintosh

バージョン

- Mac OS X バージョン 10.2.8 以降

開発環境

- Xcode 2.3

注意：Macintosh の開発環境について詳しくは、『Overview』および『Developing Plug-ins and Applications』を参照してください。

Linux

必要システム構成

- 32 ビットの Intel® Pentium® クラスのプロセッサ、128 MB 以上の RAM (256 MB 以上を推奨)、70 MB 以上の空き容量のあるハードディスク

ディストリビューションとバージョン

- Red Hat® Enterprise Linux AS バージョン 3.0 (Linux カーネルバージョン 2.4.21)
- Red Hat Enterprise Linux AS バージョン 4.0 (Linux カーネルバージョン 2.6)
- Red Hat Enterprise Linux ES バージョン 3.0 (Linux カーネルバージョン 2.4.21)
- Red Hat Enterprise Linux ES バージョン 4.0 (Linux カーネルバージョン 2.6)
- Red Hat Linux Desktop
- Red Hat Linux バージョン 9.0 (Linux カーネルバージョン 2.4.20 から 2.6)
- SuSE Linux Enterprise Server バージョン 9 (Linux カーネルバージョン 2.6)
- SuSE Linux Professional バージョン 9.2 (Linux カーネルバージョン 2.6.4)
- Turbolinux 10 Desktop (Linux カーネルバージョン 2.6)
- Red Flag Linux Desktop 4.0

注意：Linux で Adobe Reader 用のプラグインを開発するためには、GNOME GTK+ Library が必要ですが、Red Hat Linux のバージョンによっては、このライブラリが自動的にインストールされていない場合があります。Adobe Reader のプラグインをコンパイルするときは、GNOME GTK+ Library がシステムにインストールされていることを確認してください。

サポートされているブラウザ

- Mozilla バージョン 1.73 および 1.8
- Netscape バージョン 7
- Firefox バージョン 1.0

開発環境

- 標準的な GNU コンパイラ：gcc バージョン 3.2

Solaris

必要システム構成

- UltraSPARC® または UltraSPARC IIIi プロセッサ、128 MB 以上の RAM、70 MB 以上の空き容量のあるハードディスク

バージョン

- Solaris オペレーティングシステムバージョン 8 および 9

サポートされているブラウザ

- Mozilla バージョン 1.73
- Netscape バージョン 7

開発環境

- 標準的な GNU コンパイラ：gcc バージョン 3.2

AIX

必要システム構成

- RISC System/6000® または IBM Power5 プロセッサ、128 MB 以上の RAM、70 MB 以上の空き容量のあるハードディスク

バージョン

- IBM AIX バージョン 5.2 および 5.2.0.35

サポートされているブラウザ

- Mozilla バージョン 1.7.3

開発環境

- ネイティブコンパイラ：xLC バージョン 6.0

HP-UX

必要システム構成

- 32 ビットの PA-8000x プロセッサ、128 MB 以上の RAM、70 MB 以上の空き容量のあるハードディスク

バージョン

- HP-UX バージョン 11 および 11i

サポートされているブラウザ

- Mozilla バージョン 1.6

開発環境

- HP ANSI C++ ネイティブコンパイラ：aCC バージョン A.03.33

Acrobat SDK で利用できるテクノロジー

Adobe Reader の拡張やカスタマイズを行うソフトウェアを作成するには、JavaScript、アプリケーション間通信、プラグインの 3 つのテクノロジーが主に利用できます。プロジェクトに適したテクノロジーの選択方法については、『Overview』というマニュアルを参照してください。

JavaScript やプラグインを開発する場合は、Adobe LiveCycle® Reader Extensions の使用を考慮することが重要です。通常、JavaScript やプラグインから使用できる Adobe Reader の API は限られています。権限付与 PDF 文書（使用権限が追加されている PDF 文書）では追加の API が使用できるようになります。LiveCycle Reader Extensions というサーバ製品を使用すれば、文書の製作者やクリエイターが PDF 文書にすばやく簡単に使用権限を追加できます。LiveCycle Reader Extensions によって権限が付与された文書を開くと、追加機能が有効になります。追加機能で行える操作には、次のものがあります。

- 入力されたフォームをオフラインで保存する
- フォームからデータベースやオンラインサービスに接続する
- ファイルやメディアクリップを添付する
- 変更した文書のコピーを保存する

- 入力した文書をネットワークを介して送信する
- 文書に電子署名を行う
- 他のユーザと文書を共有し、ノート注釈（付箋の電子版）、ハイライト、取り消し線などの直感的なマークアップツールを使用して文書のレビューや注釈の追加を行う

注意： LiveCycle Reader Extensions を使用すれば、プラグインなどの特別なソフトウェアを配布しなくても、これらの機能を利用することができます。

Adobe LiveCycle 製品について詳しくは、『Developer FAQ』を参照してください。

JavaScript

JavaScript は、プラットフォームに依存しないスクリプト言語です。JavaScript を使用すれば、Acrobat や Adobe Reader における PDF 文書の動作だけでなく、Acrobat や Adobe Reader の動作もカスタマイズできます。多くの場合、プラグインよりも JavaScript のほうが簡単に作成できます。

注意： Adobe Reader では JavaScript のサポートが制限されています。詳しくは、[10 ページの「JavaScript の API」](#)を参照してください。

アプリケーション間通信

Acrobat と Adobe Reader では、アプリケーション間通信（IAC）がサポートされています。Windows プラットフォームの場合は OLE オートメーションと DDE が使用できます。Macintosh プラットフォームの場合は Apple イベントと AppleScript が使用できます。IAC がサポートされているのは Windows プラットフォームと Macintosh プラットフォームのみです。Linux プラットフォームや UNIX[®] プラットフォームではサポートされていません。

注意： Adobe Reader では IAC のサポートが制限されています。詳しくは、[25 ページの「アプリケーション間通信」](#)を参照してください。

プラグイン

プラグインとは、Acrobat や Adobe Reader に動的にリンクされる機能拡張のことです。プラグインの開発は、サポートされているすべてのプラットフォームで行えます。プラグインを使用すれば、Acrobat や Adobe Reader の機能を拡張したり、カスタマイズしたりできます。ユーザーインターフェイスにプラグイン独自のメニューやツールバーなどを追加することもできます。プラグインは ANSI C / C++ で書かれたプログラムで、Acrobat の API を使用します。

Adobe Reader 用のプラグインを開発するには、Reader 対応プラグインとしてアドビ システムズ社から許可を受ける必要があります。

注意： Adobe Reader では、Acrobat コア API や拡張 API のサポートが制限されています。詳しくは、[28 ページの「プラグイン」](#)を参照してください。

2

JavaScript の API

Adobe Reader では、JavaScript を使用して次のような様々なタスクが行えます。

- Acrobat フォームや XML フォームの作成と処理
- PDF 文書の動作や外観のカスタマイズ
- チームによるオンラインレビューの促進
- セキュリティポリシーの実装
- Web サービスとのやり取り
- Adobe Reader の動作や外観のカスタマイズ

注意： Adobe Reader では、Acrobat で使用できる JavaScript デバッガをユーザが起動することはできません。デバッグメッセージをコンソールに表示するように設定している場合にのみ、自動的に起動されます。ただし、特定の操作を行うことにより、Windows プラットフォームと Macintosh プラットフォームの Adobe Reader では、Acrobat のデバッガと同じ機能がすべて使用できるようになります。詳しくは、『Developing Acrobat Applications using JavaScript』の「Using the Debugger with Adobe Reader」の節を参照してください。

[8 ページの「Acrobat SDK で利用できるテクノロジー」](#)で説明されているように、LiveCycle Reader Extensions を使用すれば、PDF 文書に使用権限を追加することができます。権限付与 PDF 文書で使用できる JavaScript の API について詳しくは、『Developing Acrobat Applications using JavaScript』を参照してください。

オブジェクト、プロパティ、メソッド

JavaScript を使用すれば、サポートされているすべてのプラットフォームで、単一の文書を対象とした処理、文書内の特定のページを対象とした処理、特定のフォームフィールドを対象とした処理を実行できます。

次の表「[Adobe Reader で使用できる JavaScript のオブジェクト、プロパティ、メソッド](#)」に、Adobe Reader で使用できる JavaScript のオブジェクト、プロパティ、メソッドを示します。

注意： 一部のオブジェクト（コンソール、デバッガ、メディアプレーヤ、Text-To-Speech などに関連するオブジェクト）は、サポートされているプラットフォームが限定されています。また、多くのプロパティやメソッドは、特定のコンテキストや状況でのみ使用できます。詳しくは、『JavaScript for Acrobat API Reference』および『Developing Acrobat Applications using JavaScript』を参照してください。

Adobe Reader で使用できる JavaScript のオブジェクト、プロパティ、メソッド

オブジェクト	プロパティ	メソッド
Alerter		dispatch
Alternate-Presentation	active type	start stop
Annotation	alignment AP arrowBegin arrowEnd attachIcon	destroy getProps getStateInModel setProps transitionToState

オブジェクト	プロパティ	メソッド
Annotation (続き)	author borderEffectIntensity borderEffectStyle callout caretSymbol contents creationDate dash delay doc doCaption fillColor gestures hidden inReplyTo intent leaderExtend leaderLength lineEnding lock modDate name noteIcon noView opacity page point points popupOpen popupRect print quads rect readOnly refType richContents richDefaults rotate seqNum soundIcon state stateModel strokeColor style subject textFont textSize toggleNoView type vertices width	

オブジェクト	プロパティ	メソッド
Annot3D	activated context3D innerRect name page rect	
app	activeDocs calculate constants focusRect formsVersion fromPDFConverters fs fullscreen language media monitors numPlugIns openInPlace platform plugIns printerNames runtimeHighlight runtimeHighlightColor thermometer toolbar toolbarHorizontal toolbarVertical viewerType viewerVariation viewerVersion	addMenuItem addSubMenu addToolButton alert beep beginPriv browseForDoc clearInterval clearTimeout endPriv execDialog execMenuItem getNthPlugInName getPath goBack goForward hideMenuItem hideToolButton launchURL listMenuItems listToolbarButtons openDoc popUpMenu popUpMenuEx removeToolButton response setInterval setTimeout trustedFunction trustPropagatorFunction
app.media	align canResize closeReason defaultVisible ifOffScreen layout monitorType openCode over pageEventNames raiseCode raiseSystem renditionType	addStockEvents alertFileNotFound alertSelectFailed argsDWIM canPlayOrAlert computeFloatWinRect constrainRectToScreen createPlayer getAltTextData getAltTextSettings getAnnotStockEvents getAnnotTraceEvents getPlayers

オブジェクト	プロパティ	メソッド
app.media (続き)	status trace version windowType	getPlayerStockEvents getPlayerTraceEvents getRenditionSettings getURLData getURLSettings getWindowBorderSize openPlayer removeStockEvents startPlayer
Bookmark	children doc parent	execute
Certificate	binary issuerDN keyUsage MD5Hash SHA1Hash serialNumber subjectCN subjectDN ubRights usage	
Collab		addStateModel documentToStream removeStateModel
color	transparent black white red green blue cyan magenta yellow dkGray gray ltGray	convert equal
Column	columnNum name type typeName value	
ColumnInfo	name description type typeName	

オブジェクト	プロパティ	メソッド
console		clear hide println show 注意: Linux プラットフォームと UNIX プラットフォームでは、println のみがサポートされています。
Data	creationDate description MIMETYPE modDate name path size	
Dialog		enable end load store
Directory	info	connect
DirConnection	canList canDoCustomSearch canDoCustomUISearch canDoStandardSearch groups name uiName	search
Document	alternatePresentations author baseURL bookmarkRoot calculate creationDate creator dataObjects delay disclosed docID documentFileName dynamicXFAForm external fileSize hidden hostContainer icons info innerAppWindowRect innerDocWindowRect isModal	addAnnot addField addIcon bringToFront calculateNow closeDoc createDataObject deletePages embedDocAsDataObject exportAsFDF exportAsFDFStr exportAsText exportAsXFDF exportAsXFDFStr exportDataObject exportXFADData getAnnot getAnnot3D getAnnots getAnnots3D getDataObject getDataObjectContents

オブジェクト	プロパティ	メソッド
Document (続き)	keywords layout media modDate mouseX mouseY noautocomplete nocache numFields numPages numTemplates path outerAppWindowRect outerDocWindowRect pageNum pageWindowRect permStatusReady producer requiresFullSave securityHandler selectedAnnots sounds spellDictionaryOrder subject templates URL viewState xfa XFALeadingPage zoom zoomType	getField getIcon getLinks getNthFieldName getNthTemplate getOCGs getOCGOrder getPageBox getPageLabel getPageNthWord getPageNthWordQuads getPageNumWords getPageRotation getPageTransition getPrintParams getSound getTemplate getURL gotoNamedDest importAnFDF importAnXFDF importDataObject importIcon importSound importTextData importXFADData mailDoc mailForm openDataObject print removeDataObject removeField resetForm saveAs scroll selectPageNthWord setDataObjectContents setPageAction submitForm syncAnnotScan
Doc.media	canPlay	deleteRendition getAnnot getAnnots getOpenPlayers getRendition newPlayer
Embedded PDF	messageHandler	postMessage

オブジェクト	プロパティ	メソッド
Error	fileName lineNumber extMessage message name	toString
event	change changeEx commitKey fieldFull keyDown modifier name rc richChange richChangeEx richValue selEnd selStart shift source target targetName type value willCommit	
Events		add dispatch remove
EventListener		afterBlur afterClose afterDestroy afterDone afterError afterEscape afterEveryEvent afterFocus afterPause afterPlay afterReady afterScript afterSeek afterStatus afterStop onBlur onClose onDestroy onDone onError onEscape onEveryEvent

オブジェクト	プロパティ	メソッド
EventListener (続き)		onFocus onGetRect onPause onPlay onReady onScript onSeek onStatus onStop
Field	alignment borderStyle buttonAlignX buttonAlignY buttonFitBounds buttonPosition buttonScaleHow buttonScaleWhen calcOrderIndex charLimit comb commitOnSelChange currentValueIndices defaultStyle defaultValue doNotScroll doNotSpellCheck delay display doc editable exportValues fileSelect fillColor hidden highlight lineWidth multiline multipleSelection name numItems page password print radiosInUnison readonly rect required richText richValue strokeColor style	browseForFileToSubmit buttonGetCaption buttonGetIcon buttonSetCaption buttonSetIcon checkThisBox clearItems defaultIsChecked deleteItemAt getArray getItemAt getLock insertItemAt isBoxChecked isDefaultChecked setFocus setItems signatureGetModifications signatureGetSeedValue signatureInfo signatureSign signatureValidate

オブジェクト	プロパティ	メソッド
Field (続き)	submitName textColor textFont textSize type userName value valueAsString	
FullScreen	backgroundColor clickAdvances cursor defaultTransition escapeExits isFullScreen loop timeDelay transitions usePageTiming useTimer	
Global		setPersistent subscribe
HostContainer	messageHandler	postMessage
Icon	name	
Icon Stream	read width height	
Identity	corporation email loginName name	
Index	available name path selected	
Marker	frame index name time	
Markers	player	get

オブジェクト	プロパティ	メソッド
MediaOffset	frame marker time	
MediaPlayer	annot defaultSize doc events hasFocus id innerRect isOpen isPlaying markers outerRect page settings uiSize visible	close open pause play seek setFocus stop triggerGetRect where
MediaReject	rendition	
MediaSelection	selectContext players rejects rendition	
MediaSettings	autoPlay baseURL bgColor bgOpacity data duration endAt floating layout monitor monitorType page palindrome players rate repeat showUI startAt visible volume windowType	

オブジェクト	プロパティ	メソッド
Monitor	colorDepth isPrimary rect workRect	
Monitors	(Array と同じ)	bestColor bestFit desktop document filter largest leastOverlap mostOverlap nonDocument primary secondary select tallest widest
OCG	constants initState locked name state	getIntent setAction
PlayerInfo	id mimeTypes name version	canPlay canUseData honors
PlayerInfoList	(Array と同じ)	select
PlugIn	certified loaded name path version	

オブジェクト	プロパティ	メソッド
PrintParams	binaryOK colorOverride constants downloadFarEastFonts fileName firstPage flags fontPolicy interactive lastPage nUpAutoRotate nUpNumPagesH nUpNumPagesV nUpPageBorder nUpPageOrder pageHandling pageSubset printAsImage printContent printerName psLevel reversePages usePrinterCRD useT1Conversion	
RDN	c cn o ou e	
Rendition	altText doc fileName type uiName	getPlaySettings select testCriteria
Row	columnArray	
ScreenAnnot	altText alwaysShowFocus display doc events extFocusRect innerDeviceRect noTrigger outerDeviceRect page player rect	hasFocus setFocus

オブジェクト	プロパティ	メソッド
Search	attachments available bookmarks docInfo docText docXMP ignoreAccents ignoreAsianCharacterWidth indexes jpegExif legacySearch markup matchCase matchWholeWord maxDocs objectMetadata proximity proximityRange refine soundex stem thesaurus wordMatching	addIndex getIndexForPath query removeIndex
Security	handlers	getHandler
SecurityHandler	appearances digitalIDs directories directoryHandlers isLoggedIn loginName loginPath name signAuthor signFDF signInvisible signValidate signVisible uiName	login logout newDirectory
SignatureInfo	(プロパティについて詳しくは、『JavaScript for Acrobat API Reference』を参照してください)	

オブジェクト	プロパティ	メソッド
SOAP	wiredump	connect queryServices resolveService request response streamDecode streamDigest streamEncode streamFromString stringFromStream
Sound	name	play pause stop
Span	alignment fontFamily fontStretch fontStyle fontWeight strikethrough subscript superscript text textColor textSize underline	
Spell	available dictionaryNames dictionaryOrder domainNames languages languageOrder	addWord check checkText checkWord customDictionaryClose customDictionaryOpen ignoreAll removeWord userWords
Template	hidden name	spawn
Thermometer	cancelled duration text value	begin end
TTS	available numSpeakers pitch soundCues speaker speechCues speechRate volume	getNthSpeakerName pause qSilence qSound qText reset resume stop talk

オブジェクト	プロパティ	メソッド
util		crackURL iconStreamFromIcon printd printf printx scand spansToXML streamFromString stringFromStream xmlToSpans
XFA	(appModel コンテナに対応します。詳しくは、『Developing Acrobat Applications using JavaScript』を参照してください)	(appModel コンテナに対応します。詳しくは、『Developing Acrobat Applications using JavaScript』を参照してください)
XMLData		applyXPath parse

Acrobat JavaScript の機能や使用方法について詳しくは、『Developing Acrobat Applications using JavaScript』および『JavaScript for Acrobat API Reference』を参照してください。

3 アプリケーション間通信

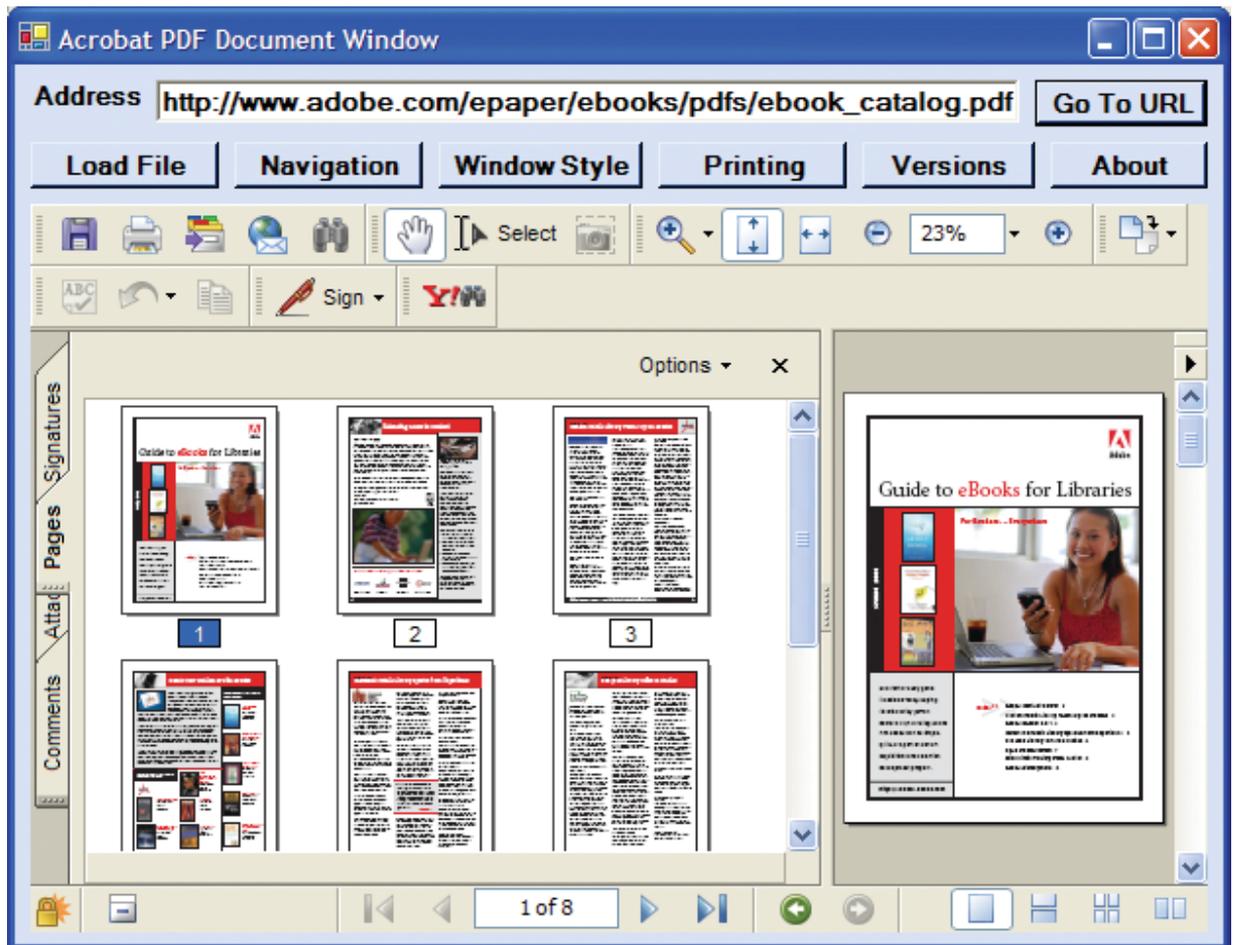
Adobe Reader では、すべての IAC 機能のうちの一部のみがサポートされています。この章に掲載されている IAC の API の構文や使用方法について詳しくは、『Interapplication Communication API Reference』および『Developing Applications using Interapplication Communication』を参照してください。

注意： IAC は、Linux プラットフォームと UNIX プラットフォームではサポートされていません。

OLE オートメーション

Windows でサポートされている Adobe Reader 用の OLE オートメーションは、PDF ブラウザコントロール インターフェイスのみです。このインターフェイスを使用すれば、外部アプリケーションで PDF 文書を ActiveX 文書として扱うことができます。ファイルをロードしたり、ファイル内の様々なページに移動したり、選択したテキストを強調表示したり、様々な印刷オプションや表示オプションを指定することができます (次の図を参照)。

PDF ブラウザコントロール



PDF ブラウザコントロールを使用するには、AxAcroPDFLib.AxAcroPDF インターフェイスを使用します。このインターフェイスには、PDF 文書ウィンドウをプログラムで制御するための次のメソッドが用意されています。

- GoBackwardStack
- GoForwardStack
- GotoFirstPage
- GotoLastPage
- GotoNextPage
- GotoPreviousPage
- LoadFile
- Print
- PrintAll
- PrintAllFit
- PrintPages
- PrintPagesFit
- PrintWithDialog
- SetCurrentHighlight
- SetCurrentPage
- SetLayoutMode
- SetNamedDest
- SetPageMode
- SetShowScrollbars
- SetShowToolbar
- SetView
- SetViewRect
- SetViewScroll
- SetZoom
- SetZoomScroll

DDE メッセージ

Adobe Reader では、次の DDE メッセージがサポートされています。

- AppExit
- CloseAllDocs
- DocClose
- DocGoTo
- DocGoToNameDest
- DocOpen
- FileOpen
- FileOpenEx
- FilePrint
- FilePrintEx
- FilePrintSilent
- FilePrintSilentEx
- FilePrintTo
- FilePrintToEx

Apple イベント

Macintosh では、Apple イベントと AppleScript が使用できます。Adobe Reader では、次の必須の Apple イベントのみがサポートされています。

- open
- print
- quit
- run

4

プラグイン

Acrobat のコア API や拡張 API を使用して、Adobe Reader 用のプラグインを作成することができます。API のアーキテクチャ、メソッド、使用方法について詳しくは、『Developing Plug-ins and Applications』および『Acrobat and PDF Library API Reference』を参照してください。

Adobe Reader 用のすべてのプラグインは、アドビ システムズ社の許可とライセンスを受けて Reader 対応にする必要があります。Reader 対応プラグインを開発するには、『Developing Plug-ins and Applications』で説明されている手順に従って、プラグインコードに特定の変更を加えます。これによって、Adobe Reader でそのプラグインが認識され、ロードされるようになります。Reader 対応プラグインで行えることや行えないことについては、Reader Integration Key License Program を参照してください。

Reader 対応プラグインは、C / C++ API を使用して作成された Adobe Reader にダイナミックにリンクされる機能拡張です。開発は、サポートされているすべてのプラットフォームで行えます。

- Windows では DLL (拡張子 .api) です。
- Mac OS X では共有ライブラリ (コードフラグメント) です。
- Linux プラットフォームや UNIX プラットフォームでは共有ライブラリです。

[8 ページの「Acrobat SDK で利用できるテクノロジー」](#)で説明されているように、LiveCycle Reader Extensions を使用すれば、PDF 文書に使用権限を追加することができます。PDF 文書に付与されている権限を確認する方法については、『Developing Plug-ins and Applications』を参照してください。

注意： LiveCycle Reader Extensions を使用すれば、プラグインなどの特別なソフトウェアを配布しなくても、PDF 文書に追加の使用権限を付与することができます。

Adobe Reader で使用できる API

ホストファンクションテーブル (HFT) は、関数ポインタのテーブルです。プラグインは、これを使用して Adobe Reader のメソッドを呼び出します。Adobe Reader 向けの開発で使用できる HFT は、次のとおりです。

- AcroView
- AcroViewSweetPea
- Cos
- PDModel
- ASEExtra
- PDSRead
- AcroSupport
- Core
- Forms
- TTS
- DigSigHFT
- AcroHLS (Linux プラットフォームや UNIX プラットフォームでは使用できません)
- PubSecHFT
- Search
- WebLink

HFT で提供されている各 API のサポートについては、『Developing Plug-ins and Applications』を参照してください。Acrobat の様々なレイヤーや、関連する HFT の構成については、『Acrobat and PDF Library API Reference』を参照してください。Acrobat の拡張 API の概要については、『Acrobat and PDF Library API Reference』を参照してください。PDF 文書に適用できる追加の使用権限については、『Developing Plug-ins and Applications』を参照してください。

索引

A

ActiveX 文書 25
Adobe LiveCycle Reader Extensions 8, 10, 28
AIX 6, 8
AppleScript 9, 27
Apple イベント 9, 25

D

DDE 9
DDE メッセージ 27

H

HP-UX 6, 8

I

IAC 25

J

JavaScript 9, 10
JavaScript デバッガ 10

L

Linux 6, 7

M

Macintosh 6

O

OLE オートメーション 9, 25

P

PDF ブラウザコントロール 25

R

Reader 対応プラグイン 9, 28

S

Solaris 6, 7

W

Windows 6

あ

アプリケーション間通信 9

け

権限付与 8, 10

さ

サポートされているプラットフォーム 6

つ

追加の使用権限 8, 10, 28

ふ

プラグイン 9, 28